

- NPO基盤強化資金助成 助成先の決定、贈呈式を開催
- 自動車購入費助成 贈呈式を開催
- 海外助成 助成先の決定
- 第17回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞等の決定

発行者 公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン日本興亜本社ビル TEL: 03-3349-9570 FAX: 03-5322-5257

http://www.sjnkwf.org/ Eメール: office@sjnkwf.org



NPO基盤強化資金助成 助成先の決定、贈呈式の開催

NPOの活動基盤強化に必要な資金を支援する「NPO基盤強化資金助成」の助成先を決定しました。2つのプログラムを合わせて40団体（約1,500万円）に助成金を贈呈します。

※主に子供（障害児など）を対象として活動を行っている9団体（下表団体名に★）への助成金には、損害保険ジャパン日本興亜グループの社員の毎月の給与から集められる「ちきゅうくらぶ社会貢献ファンド」からの寄付金200万円を活用させていただきました。

1. 「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成先決定

西日本地区で、2015年9月から10月にかけて公募したところ、133件の応募をいただきました。団体の基盤強化に大きく貢献すること、地域課題の解決に大きく貢献することなどを基準に、以下の20団体に総額931万円の助成を決定しました。

所在地	団体名	助成する事業の概要	助成金額(万円)	所在地	団体名	助成する事業の概要	助成金額(万円)
滋賀	NPO法人 喜里	障害者の就労支援作業所のステンドグラスや布小物の商品開発をデザイン会社に依頼し、品質向上と販売拡大につなげる。	30	奈良	特定非営利活動法人 奈良NPOセンター	若者を対象としたインターン制度やボランティア入門講座を開催し、センターを支える福祉系NPO・ボランティアの育成をはかる。	50
京都	特定非営利活動法人 ころばねっと京都 ★	発達検査や知能検査の検査用具を購入し、より精密な結果をもとにきめ細かい障害児・者の支援を行うことで市との連携も充実させる。	50	和歌山	特定非営利活動法人 絆	種抜き梅（地場産品「南高梅」を使用）の検品作業用の選別コンベアを設置し、品質の向上と効率化により売上を増やし賃金アップする。	50
京都	特定非営利活動法人 京都ほっとはあとセンター	人通りの多い新店舗の商品棚を購入し、ディスプレイなどのコンサルを受けて、障害者の授産製品の販売強化をする。	50	広島	特定非営利活動法人 広島自閉症協会 ★	発達障害児の保護者を支援できる者を養成講座などで育成し、地域での相談事業の充実と寄与し、会員やサポーターの獲得につなげる。	50
大阪	特定非営利活動法人 コスモス	移転先施設の授産物（梅干し等）店舗部分にスロープやデッキを設置し、快適でお客様さまも入りやすい店にする。	49	福岡	特定非営利活動法人 村のぼん屋・SUN	ガス充填シーラー導入により、菓子類の賞味期限が延長され販路や販売量が拡大でき、賃金向上や雇用数の拡大ができる。	50
大阪	特定非営利活動法人 日本病院ボランティア協会	テレビ会議システムを導入し、全国の理事の意見交換の活性化とIT技術向上による組織の強化を行う。	45	福岡	特定非営利活動法人 エスタスカーサ	スプリンクラーの設置により、重度障害者の自立支援のための短期入所事業の受け入れ態勢が強化され、グループホームへの展開ができる。	50
大阪	特定非営利活動法人 ふれあい泉	新設した障害児の放課後等デイサービス事務所にクローラーを設置し、より良い環境下で充実した訓練を行うことで、新たな施設の開設につなげる。	50	福岡	特定非営利活動法人 クックルー・ステップ	障害区分なく受け入れている児童・生徒に適した備品の購入による支援の充実と、設備の衛生面、効率化による事業の強化を行う。	50
大阪	特定非営利活動法人 地域通貨ねやがわ	地域通貨「げんき」の認知度と利用度をさらに高め、高齢者生活支援のサポートを重点にした地域福祉力を強化する。	48	長崎	特定非営利活動法人 Brighter Steps	特別な支援を必要とする子どもと家族を支援するための人材育成の研修事業を実施し、地域からの要望に応え、理解促進をはかる。	50
大阪	特定非営利活動法人 大阪精神医療人権センター	ホームページをアクセスしやすくする改善することで、より多くの電話相談や面会活動の利用が可能となる。	50	熊本	NPO法人 木もれ陽会	農業機械を導入し、特産品ニンニク・ミシマサイコの栽培効率をあげ製品化することで、収入の安定化と地域への認知度アップにつなげる。	50
大阪	特定非営利活動法人 吹田市音楽療法推進会 おんがく・さーくる・コスモス ★	経営コンサルティングを受けることで、障害児の音楽療法事業の充実をはかり、安定した団体運営につなげる。	50	大分	特定非営利活動法人 市民後見人養成・活動支援ネットワーク 大分	成年後見制度の普及・啓発活動のための講座、講習会、学習会を開催し、認知度向上や法人後見受託などを旨とする。	40
大阪	特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会	サポーターやボランティアなどの情報管理を一元化し、支援の継続や次世代の人材育成などにつなげ経営基盤の安定をはかる。	50				
兵庫	特定非営利活動法人 あんさんぶる	行動擁護従事者養成研修を行い、重度心身障害者の支援者を増やし、受け入れ人数を増やすことを目指す。	19				

※本年度は助成決定後に上記以外の1団体から助成辞退がありました。

2. 「認定NPO法人取得資金」助成先決定

全国で、2015年9月から10月にかけて公募したところ、50件の応募をいただきました。地域課題解決への貢献度、認可取得に対する取り組みの進捗、「認定NPO」の活用方法などを基準に、以下の20団体に1団体30万円、総額600万円の助成を決定しました。

所在地	団体名	団体の主な活動内容 () は認定取得の目的	所在地	団体名	団体の主な活動内容 () は認定取得の目的
北海道	特定非営利活動法人 北海道NPOファンド	市民による市民活動団体への助成事業を実施。 (遺贈など個人・団体からの寄付への呼びかけ)	神奈川県	特定非営利活動法人 アンガージュマン・よこすか ★	不登校、引きこもりなどの子どもとその家族を支援。 (申請過程での組織の運営確認、資金調達の拡充)
福島	NPO法人 郡山ベップ子育てネットワーク ★	福島の子どもの心身のケアや遊び場の提供など。(管理体制と地域の信頼強化。自己資金の確保)	静岡県	特定非営利活動法人 熱海ふれあい作業所	障害者の就労支援事業。 (組織運営の安定など)
埼玉	特定非営利活動法人 くまがや小麦の会	熊谷の小麦粉を使った町おこし、食育、児童擁護施設・自立支援施設などでの料理講習会の実施など。(サポーター、寄付の獲得)	愛知県	特定非営利活動法人 ひなた	障害児の放課後等デイサービス、障害者支援および啓発活動など。(地域の中核として信頼を得て、寄付や人材を確保する)
埼玉	NPO法人 カローレ	児童館、放課後児童クラブの運営を通じた子育て支援事業を実施。(指定管理者、認定保育園などを旨す)	大阪府	特定非営利活動法人 きんきうえび	ICTを基盤とした介護予防事業や高齢者の見守り、公益活動団体の支援事業など。(寄付をする行為の認知度向上や信頼を得る)
千葉	NPO法人 発達わんぱく会 ★	発達障害のある幼児の支援。 (団体への信頼感が増し、寄付増や人材確保につながる)	大阪府	特定非営利活動法人 Homedoor	ホームレス状態の方の生活や就労の支援、啓発活動など。 (社会的信用の向上、寄付やサポートが得やすくなる)
東京	認定特定非営利活動法人 まちぱっと	持続可能な市民社会作りなどへの政策提案や、市民の社会活動への助成など。(寄付獲得と組織・事業の体制整備)	兵庫県	特定非営利活動法人 ぽっかぽかランナーズ	障害者とのマラソンを通じた交流事業。 (団体の信用性を高め、寄付増と活動の認知度、向上を目指す)
東京	特定非営利活動法人 ぶれいす東京	HIV感染や性感染についての相談や啓発教育、HIVに感染した人々への支援サービスを実施。(寄付増による経営基盤の安定)	奈良県	特定非営利活動法人 きららの木	生活介護事業や児童発達支援、相談事業などによる障害児・者の支援。(法人への信頼感の一層の高まり、寄付増など)
東京	特定非営利活動法人 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク ★	地域の子どもを地域が見守り、学びや暮らしを支えるネットワークづくり、貧困の連鎖を断つことを目指す。	愛媛県	特定非営利活動法人 こころ塾	うつや職業リハビリなどによる就労支援、職場復帰プログラムの実施。(寄付金による増収)
東京	特定非営利活動法人 3keys ★	格差の下にいる子どもの学習支援など。 (支援や担い手を増やし基盤強化につなげる)	長崎県	特定非営利活動法人 ほほえみがさき	障害者、難病患者への通院介護事業。 (公共性を訴え、内部管理体制を充実)
東京	特定非営利活動法人 マドレボニータ ★	産後の母親ケアによる、子どもの健全育成、虐待予防、女性の再チャレンジなどに貢献。(仕組みの整備による寄付増)	沖縄県	特定非営利活動法人 珊瑚舎スコレ	中・高生の不登校などのサポート校や生活困難者の子弟への補習塾の運営。(社会的信用の向上と寄付を受けやすくする)

3. 贈呈式の開催

首都圏、関西地区の助成先にお集まりいただき、合同贈呈式を開催しました。また、損害保険ジャパン日本興亜(株)の地区本部または支店のご協力で、各地で助成金の贈呈式を開催しています。(各地の贈呈式の様子は次号に掲載予定です。)

首都圏贈呈式

【2月1日損保ジャパン
日本興亜本社で開催】
(東京、埼玉、神奈川)
の9団体が参加



【2月3日損保ジャパン日本興亜大阪ビルで開催】
(滋賀、京都、大阪、神戸、奈良)の16団体が参加

関西地区贈呈式

自動車購入費助成 贈呈式の開催



損害保険ジャパン日本興亜(株)の支店のご協力で、障害者福祉団体への助成金の贈呈式を開催しました。

南北海道支店



●12月1日に、南北海道支店長が訪問し、理事長の浅野さんから、「この車で毎日、パンやピザの外販に使用しています。今後は販売ルートを増やして、売り上げも伸びる事を期待している。」と報告をいただきました。

〈特定非営利活動法人 せたな共同作業所ふれんど〉

岩手支店



●11月27日に、岩手支店長が訪問。車は、内職の物品搬入・搬出に使用し、利用者の工賃アップに繋げる事ができ、自主事業の販売に貢献できそうです。

〈特定非営利活動法人 カトリア会〉

仙台支店



●12月8日に、仙台支店長が訪問し、理事長の清水さんから、「利用者の毎日の送迎や日中活動施設のお出掛けに使用しています。新しい車で利用者の方も笑顔が増え、楽しく外出できると喜ばれています。」と報告を受けました。

〈特定非営利活動法人 マイホームとしくん家〉

山形支店



●12月18日に、山形支店長が団体を訪問。車は、乾燥生ゴミの回収作業だけでなく農作業全般に活用し、新鮮な状態で農産物を大量に積んで地域や市場に出向いての納品が可能になります。

〈特定非営利活動法人 山形自立支援創造事業舎〉

福島支店

●11月20日に、福島支店長が団体を訪問し、理事長の阿部さんから、「一度にたくさんの利用者さんの送迎ができるようになったため、コストダウンにつながりました」と報告をいただきました。



〈NPO法人 ほほえみの間〉

栃木支店



●12月14日に、栃木支店長が団体を訪問し、理事長の長さんから、「毎日の送迎に利用しています。子供たちも喜んでいうえに、安全が確保されました。」と報告をいただきました。

〈特定非営利活動法人 シュシュ〉

東京中央支店



●12月17日に、東京中央支店長が団体を訪問。この車により安全・安心はサービスが提供でき、移動時間を短縮することで効率的に作業ができ、工賃アップにつながり、また時間の有効活用することで、利用者さんの個別対応に時間を費やすことができます。

〈特定非営利活動法人 WEL'S 新木場〉

富山支店



●11月25日に、富山支店長が団体を訪問し、理事長の喜多さんから、「朝夕の送迎だけではなく、会議や研修、地域の行事にも以前より積極的に参加できるようになった。今後も地域福祉の増進や共生社会の実現に向けての活動に力をいれることができる。」と報告をいただきました。

〈特定非営利活動法人 ありがた家〉

福井支店

●11月13日に、福井支店長が団体を訪問。この車は利用者さんも職員も安心して運転ができ、職場環境も整備でき、農園や出荷先への運搬、資材の買い物、利用者さんの送迎に使用します。



〈特定非営利活動法人 ちいさな種・こころ〉

静岡支店



●11月26日に、静岡支店長が団体を訪問し、理事の増田さんから、「カレー弁当の配達や施設外就労、納品、営業に使用している。時間や経費の節約にもなり、大量の商品の積み込みなどにもとても役立っている。」と報告をいただきました。

〈NPO法人 ニット工房ライク〉

海外助成 助成先の決定

6年目となる海外助成では、ASEAN加盟国およびインドで、地域課題の解決につながるプログラムを行う以下の6団体に合計約460万円の助成を決定しました。各地で贈呈式を開催しています。

国	団体名	助成金の使途	助成金額
マレーシア	PT FOUNDATION (ピーティー ファンデーション)	HIV感染およびAIDS予防・ケアの支援。HIVに感染した子ども達への支援プログラム。	(約50万円) 15,000 MYR
ミャンマー	Eden Center for Disabled Children(ECDC) (エデン センター フォー ディザブルド チルドレン)	若手の障害者・障害児の支援。その中で、子どもの独立性を最大化し、「私はできる」という態度を育てる活動プロジェクトの支援。	(約80万円) 8,000,000 MMK
フィリピン	ACTION Inc (アクション インク)	児童養護施設・貧困地域にいる子どもを対象とした職業訓練の中で、孤児院の子ども達の自立を目指したヘアカットトレーニングプログラムに支援。	(約100万円) 380,000 PHP
シンガポール	SPD (エスピーディー)	障害者のための作業場の生産性向上のための車椅子の更新、梱包作業に必要なコンテナ、パレットなどを支援。	(約90万円) 10,000 SGD
タイ	Association for Independent Living of People With Disability (AILD: 障害者自立生活支援機構)	障害者のための地域環境プロジェクト。地方マーケットの環境整備プログラムに支援。	(約70万円) 200,000 THB
タイ	HEALTH AND SHARE FOUNDATION (ヘルス アンド シェア ファンデーション)	HIV陽性者の治療支援プロジェクトに支援。	(約70万円) 200,000 THB



マレーシア (PT FOUNDATION)



シンガポール (SPD)



タイ (AILD)

第17回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞等の決定

社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する「第17回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」の受賞文献を決定しました。

2016年3月8日には損害保険ジャパン日本興亜(株)本社ビルにて贈呈式を開催します。

また、2016年7月23日には、グランドアーク半蔵門(東京都千代田区)において受賞者による講演会とシンポジウムを開催する予定です。

(講演会・シンポジウムの詳細は、当財団ホームページに記載いたしますのでご覧ください。)

◆受賞著書:「病いの共同体ーハンセン病療養所における患者文化の生成と変容ー」
(新曜社 2014年11月発行)

◆受賞者:青山 陽子氏(成蹊大学ほか非常勤講師)

受賞者プロフィール

成蹊大学ほか非常勤講師。
東京大学大学院医学系研究科博士課程単位取得退学。
博士(文学) 早稲田大学。

主要研究分野:スティグマの社会学、質的調査。

主要論文・著書:「ハンセン病療養所の患者社会における共同的な営み」『年報社会学論集』23号、2010年。
「地域生活支援の現場で働く」『ライフストーリーの社会学』(共著)北樹出版、2005年。



【研究奨励金の贈呈】

損保ジャパン日本興亜福祉財団賞の審査過程で、財団賞には及ばないものの優れた著作(佳作)であると評価された特に若手の著者を対象に助成する「研究奨励金」も決定しました。

◆研究奨励金受領者:蜂谷 俊隆氏(美作大学生活科学部准教授)

◆著書名:「糸賀一雄の研究ー人と思想をめぐってー」(関西学院大学出版会 2015年3月発行)

☆☆財団からのお知らせ☆☆

◆叢書86号「第16回 損保ジャパン日本興亜福祉財団賞受賞記念講演録」を発行予定。

◆叢書87号『「保険業法に関する研究会」報告書 債権法改正と保険実務』を発行予定。

◆叢書88号『「福祉マネジメント研究会」報告書 ニーズ対応型福祉サービスの開発と起業化』を発行予定。